

Works University

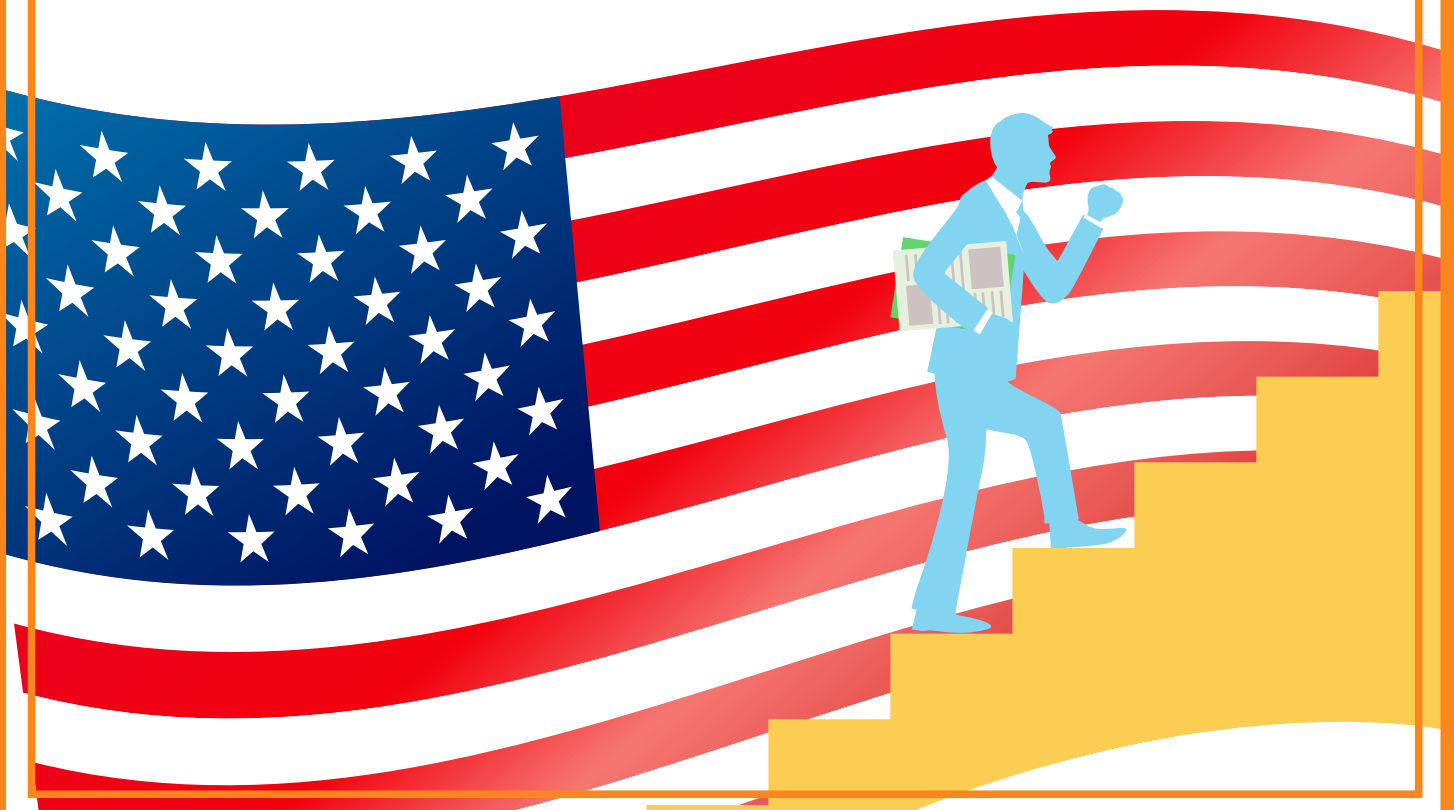
米国の 人材ビジネス

HR Business Overview in the US



11

資格・人材育成



米国の人事関連資格

企業における人事部は経営戦略の中枢をなす重要な部門である。そのため、特にグローバル化、M&A などの大きな変化のある組織では、変化に応じた適切な人材管理や戦略をサポートする人事計画を遂行できる人事のプロフェッショナルが求められており、米国では人事担当者としての能力を認定する資格が存在する。さらにビジネスのグローバル化に伴い、国境を超えた人材管理が必要とされており、それに対応した国際人事資格も出てきている。

米国の人事部門では、人事資格が採用選考の条件となることも多い。

米国では非営利団体の HRCI (Human Resource Certification Institute) が PHR (Professional in Human Resources)、SPHR (Senior Professional in Human Resources) などの人事資格を認定している。この資格は 40 年以上前から続いている人事資格で、米国では人事分野の多くのプロフェッショナルがもつ主要な資格の 1 つである。

HRCI は人事資格としてそのほかにも、グローバル組織における人事資格 GPHR (Global Professional in Human Resources) や米国国外の人事担当者向けの PHRi (Professional in Human Resources - International)、SPHRi (Senior Professional in Human Resources - International) を認定している。

また HRCI は同団体の資格の国際的な普及を目的にメキシコ AMEDIRH (La Asociacion Mexicana en Direccion de Recursos Humanos) と提携している。

さらにカリフォルニア州に限定した人事資格として PHRca を設けており、2016 年 5 月から人事未経験者もしくは経験の浅い人事担当者向けの aPHR (Associate Professional in Human Resources) の資格認定を開始した。

人事分野で世界最大の非営利団体である米国人材マネジメント協会 (Society for Human Resource Management、SHRM) は 2015 年から新しい資格制度を開始した。

現在 HRCI が認定している PHR および SPHR は、以前は SHRM の資格で HRCI はその認定機関としての位置づけであったが、2015 年 5 月から SHRM は現在の HRCI の PHR に相当する SHRM-CP (SHRM Certified Professional) および SPHR に相当する SHRM-SCP (SHRM Senior Certified Professional) の資格を独自に開始した。HRCI と SHRM の資格の比較については [図表 1](#) を参照。

図表 1 HRCI と SHRM が認定する資格の比較

団体名		HRCI		SHRM			
資格名		PHR	SPHR	SHRM-CP		SHRM-SCP	
受験資格 (学歴)	専攻	-	-	人事	人事以外	人事	人事以外
	四年制大学卒以下	最低 4 年間の人事業務経験	最低 7 年間の人事業務経験	3 年間の人事経験	4 年間の人事経験	6 年間の人事経験	7 年間の人事経験
	四年制大学卒	最低 2 年間の人事業務経験	最低 5 年間の人事業務経験	1 年間の人事経験	2 年間の人事経験	4 年間の人事経験	5 年間の人事経験
	大学院卒以上	最低 1 年間の人事業務経験	最低 4 年間の人事業務経験	現在人事として勤務していること	1 年間の人事経験	3 年間の人事経験	4 年間の人事経験
その他必要な条件		-		受験者は 1 年間 (暦年) で 1,000 時間以上人事業務に従事していなければならない (1,000 時間の条件を満たしていれば、パートタイマーでも可)			
有効期間		3 年		3 年 (資格保有者本人の誕生日最終日まで)			
再認定要件		60 時間の人事関連継続学習または試験 (SPHRは少なくとも 15 時間はビジネス関連であることが必須)		SHRMが定める講座やボランティア活動に参加し、最低 60 単位 (Professional Development Credits、PDC)の取得が必須または試験			
資格取得者数累計		7 万 8,745 人	5 万 3,438 人	10 万人超			
		(2017 年 1 月時点)		(2017 年 3 月時点)			
テスト形式		CBT (コンピュータ・ベース・テスト)		CBT (コンピュータ・ベース・テスト)			
審査料		\$495	\$595	SHRM会員 \$300、SHRM非会員 \$400			
		(更新料: \$100)		(更新料 SHRM会員 \$100、SHRM非会員 \$150)			
資格認定基準		HR Body of Knowledge (HRBoK™、HRCIが考える人事がもつべき知識、行動を示した包括的な職務概要)について審査		Body of Competency & Knowledge (SHRM BoCK™ SHRM独自の能力・知識体系)にもとづく人事としての行動特性や知識を審査 <テクニカル能力> 人事専門知識 (従業員、組織、職場の観点からそれぞれに必要な知識) <行動能力> リーダーシップスキル (リーダーシップ、倫理的行動力) ビジネススキル (経営に関する洞察力、協議力、判断力) 対人スキル (コミュニケーション力、グローバル環境や多様な文化に対する適合力、人的関係構築力)			
特記事項		その他のHRCIの認定資格: aPHR (人事未経験者もしくは経験が短い人事担当者向け) PHRca (カリフォルニア州での人事担当者向け) GPHR (グローバル人事担当者向け) PHRi (米国以外の国での人事担当者向け) SPHRi (米国以外の国でのシニアレベルの人事担当者向け) 全米資格認定委員会 (NCCA) から認定されている資格		資格認定機関Buros Centerから認定されている資格			

出所: HRCI、SHRMホームページ (2018年1月時点)

その他の主な関連資格

米国最大の人材派遣団体である米国人材派遣協会（American Staffing Association、ASA）は、人材紹介・派遣業界においての実務者であることを証明する資格を設けている。人材派遣全般（Certified Staffing Professional、CSP）、テクノロジー・科学（Technical Services Certified、TSC）、人材・職業紹介（Certified Search Consultant、CSC）、ヘルスケア（Certified Health Care Staffing Professional、CHP）の分野別の4つの資格で、合計9,500人以上に資格を認定している。

米国の人材開発協会（Association for Talent Development、ATD）は研修、人材開発分野における5年以上の経験者を対象とした資格CPLP（Certified Professionals in Learning and Performance）や、CPLPの前段階の資格APLP（Associate Professional in Talent Development）を認定している。

国際人事情報管理協会（International Association for Human Resource Information Management、IHRIM）は米国唯一の人事情報システム分野を専門とする団体で、人事システム運用に携わる人を対象に人事情報の管理能力と知識を認定する資格HRIP（Human Resources Information Professional）を認定している。

エグゼクティブサーチ・リーダーシップコンサルタント協会（Association of Executive Search and Leadership Consultants、AESC）は、経験豊富な人材紹介コンサルタント向けに、MBAレベルのコースを米国コーネル大学のILRスクール（後述）と共同で開講し、「Advanced Certificate in Executive Search and Leadership Consulting」を授与している。

米国の多くの会社では、人事団体の認定資格が昇進や給与に大きく反映されている。2013年に行われた民間調査会社による調査¹でHRCIの資格をもつ人ともない人を比較した結果、アシスタントなど人事経験が少ない職位では、資格をもつ人の昇進がより早いということが分かった。また同じ職位でも資格の有無により給与に差が出ており、特に管理職以上では給与の差は約1万ドルという結果が出ている。

キャリアの初期段階では、資格が昇進につながるため、資格を取得する理由となるが、ある一定の職位に達すると資格よりも経験が重視されるため、キャリアアップの手段としての資格の意味は薄れる。それでも多くの人が資格を更新し続けるのは、「せっかく勉強して取った資格を失うのはもったいないから」という理由もあるようだ。

一方で、学識者の間には「大企業での人事経験10年の方が資格よりも重要である」という経験重視の考え方もあり、特に人事関連の大学院を卒業した人は、「人事資格は必要ない」という意見もある。

また、新しい価値基準をもつ人材を積極的に採用しているIT業界の企業などでは、従来の人事資格を重要視しない会社が増えてきている。

¹ PayScale社調査 “The Value of the PHR and SPHR”（2013年）

教育機関における人材育成

米国では様々な大学で人事分野の学士、修士、博士コースのプログラム、社会人講座などが数多く開講されている。

そのなかでもコーネル大学の ILR スクール (ILR School of Cornell University) は 1945 年創立の由緒あるプログラムであり、大学、大学院プログラムを合わせた現在の学生数は 1,000 人を超える。また社会人を対象にしたプログラムも開講しており、特に企業のエグゼクティブ向けの教育に力を入れている。同大学の人事研究機関 CAHRS (Center for Advanced Human Resources Studies) は 70 社以上の世界的に有名な企業と提携を結び、学术界と産業界の交流を活発に行っている。またコーネル大学ではオンライン学習プログラム「eCornell」を開講しており、5つの人事関連コースがある。上述の ILR スクールが講座修了者にコース受講を認定し、単位を授与する。SHRM 資格更新単位として認められるコースもある。

ペンシルベニア州立大学の LER スクール (School of Labor and Employment Relations) は、250 人を超える大学生、大学院生が在籍している 70 年以上の歴史がある学校である。また同大学のオンライン学習プログラム「World Campus」では、主に人事経験のある人を対象に修士プログラム (Master of Professional Studies in Human Resources and Employment Relations、HRER) を開講している。

また人事担当者の教育を目的とするウェビナーやワークショップを多く開催しており、HRCI の資格更新単位としても認定されている。

企業による人材育成

近年、自動化や人工知能に関する開発が活発化するなか、労働者のテクニカルな技能を育成しようとする企業による動きが目立っている。特に IT 産業では多くの大手企業が州政府や学校などの教育機関と連携し、非営利団体が提供する技能プログラムに寄付することで労働者の技能教育に取り組んでいる。

たとえばグーグルは職業訓練や起業を支援する非営利団体に寄付する一方で、地方自治体が主催する職業訓練にも積極的に協力するなど活動の輪を広げている。

マイクロソフトも技能教育に焦点を当てた研修や教育プログラムに寄付をしており、労働者が学習する機会を支援し続けている。

さらに、企業の人材育成の動きは既存の労働者だけでなく、未来の労働力の柱となる学生にも拡大している。

米国のテクノロジー産業の主要企業が参加するインターネット協会 (Internet Association) は 5 年間で 3 億ドルを寄付し、幼稚園年長の幼児から高校生までの子供たちを対象にプログラミングを含むコンピュータ科学を学習する機会を提供する。個々のテクノロジー企業でも、若者の技能を育成し、米国の競争力を維持しようとする動きが高まっている。

Works University
米国の人材ビジネス
11.資格・人材育成

執筆

小原久美（リクルートワークス研究所）

監修

村田弘美（リクルートワークス研究所）

発行日

2018年3月15日

発行

リクルートワークス研究所 グローバルセンター
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17
リクルートGINZA8ビル
株式会社リクルートホールディングス
TEL 03-6835-9200
URL www.works-i.com/

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。
©Recruit Holdings Co.,Ltd. All rights reserved.

参考資料等に掲載しているURLは各ウェブサイトへリンクしております。
ただし、ページの移動もしくは閉鎖している場合がございます。

米国の人材ビジネス

11. 資格・人材育成

リクルートワークス研究所

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17

リクルートGINZA8ビル

株式会社リクルートホールディングス

TEL 03-6835-9200

URL www.works-i.com/